

技術開発紛争のポイント

平成27年11月24日

弁理士・弁護士 加藤 光宏



特許法律事務所 樹樹
Patent and Law Firm JuJu

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目9番16号 丸の内YSビル 5F-B
TEL 052-212-8100 / FAX 052-212-8111



自己紹介

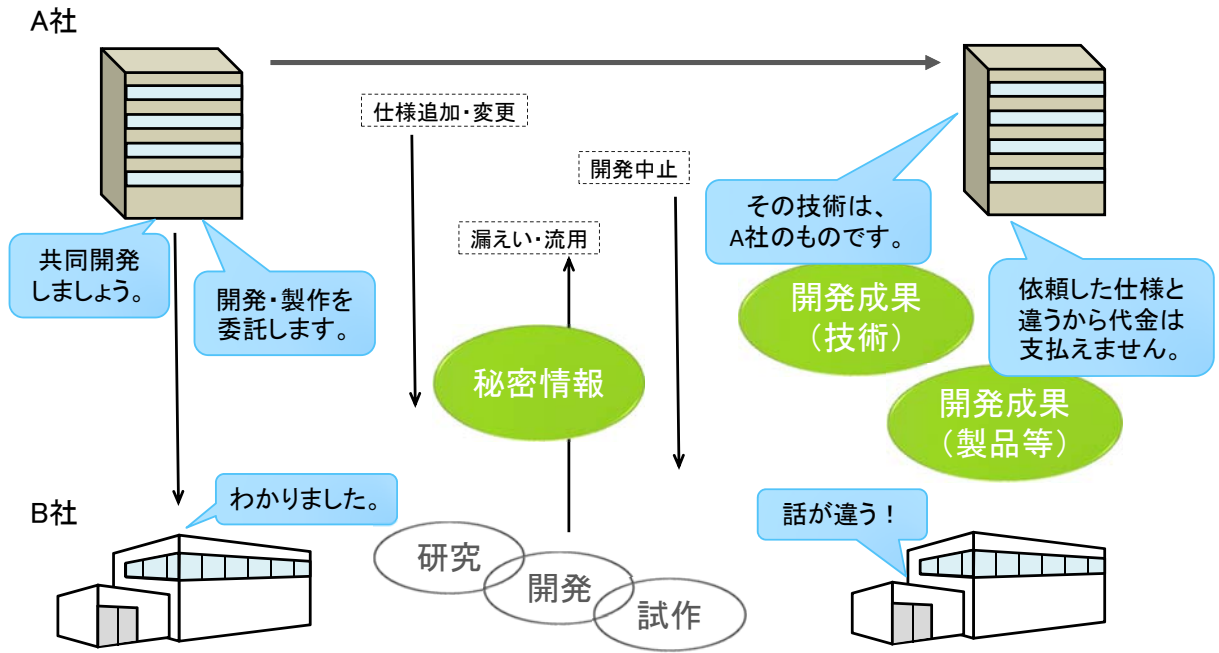
略歴

- 昭和63年 3月 京都大学工学部航空工学科卒業
- 昭和63年 4月 川崎重工業株式会社航空宇宙事業本部
- 平成 9年 1月 弁理士登録
- 平成16年 4月 名古屋大学法科大学院入学
- 平成21年12月 弁護士登録、弁理士再登録、特許法律事務所 源 開設
- 平成23年12月 特許法律事務所 樹樹 開設

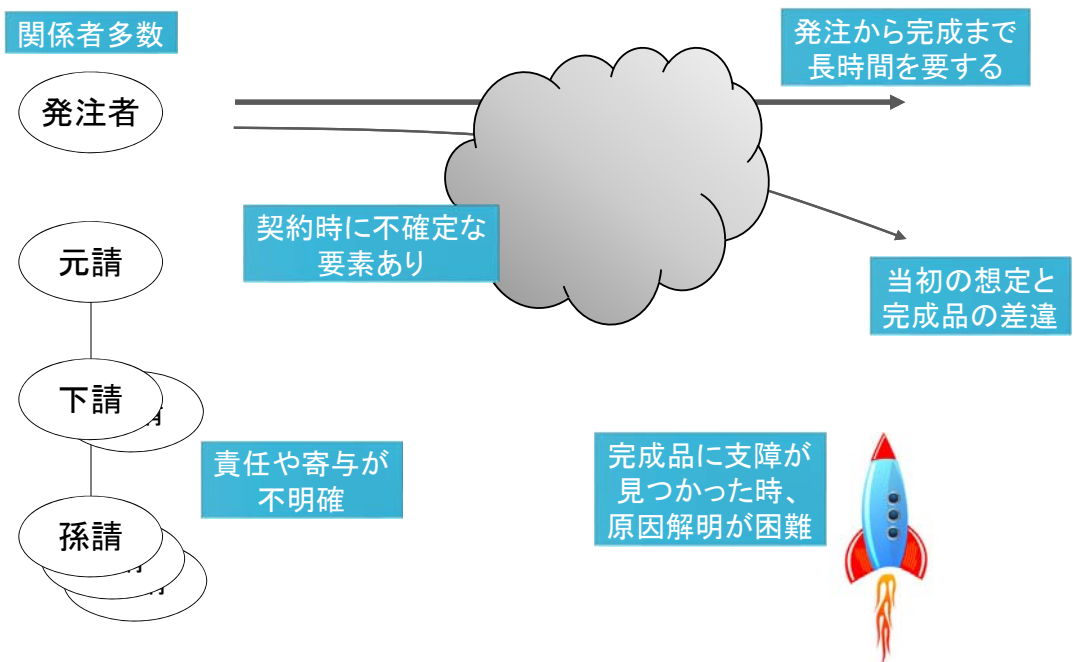
役職等

- 日本弁理士会東海支部
 - 知的財産制度推進委員会 委員長(2014年)
 - 東南アジア委員会 副委員長(2014年)
 - 知的財産支援委員会 副委員長(2015年)
 - 副支部長(2016年)
- 愛知県弁護士会
 - 情報問題対策委員会副委員長

技術開発紛争の例



技術開発紛争の特徴



法律上の問題

紛争パターン	法律上の問題
秘密を漏洩・流用された	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 秘密保持契約違反 秘密保持契約の実効性確保は難しい。 ✓ 不正競争防止法違反(営業秘密の漏洩等) 不正の利益を得る目的等の有無が問題となる。
共同開発した技術を相手に独占されてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 共同開発・共同出願契約違反 ✓ 共同出願違反(特許法他) 共有者と共同でなければ特許出願することができない。違反すると特許が拒絶、無効となる。
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 業務を完了したのに支払いをしてもらえない ➢ アウトプットが依頼した内容と異なる・不具合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 請負契約 請負で費用を請求するには、仕事の完了が条件。どこまでやれば「完了か」が問題となる。 ✓ 瑕疵担保責任 不具合については請負業者に責任があるが、不具合なのか、追加仕様等の要求なのかが問題となる。

実例～スルガ銀行事件

スルガ銀行がIBMに対して115億8000万円の支払いを求めた事件

＜損害賠償額＞

一審(東京地裁) 74億1300万円
控訴審(東京高裁) 41億7000万円

- 最終合意書の法的拘束力は認めなかった
 - ・将来の個別契約が前提となっていた
 - ・更に協議して最終化することが合意されていた
 - ・法的義務を負わない旨の条項あり
- プロジェクト・マネジメント義務違反が認められた
 - ・システムの機能、ニーズに対する充足度、開発手法等を検討・検証し、リスクについて説明する義務
 - ・システム開発の遂行過程における状況に応じて変化しつつ定まる
- 地裁と高裁の違いは同義務違反を認容した時期の差違による

＜事件の流れ＞

H12 スルガ銀行がIBMに対して、基幹システムの提案を依頼
↓
H16.3 IBMはCorebankというパッケージを利用したシステム開発を提案
↓
H16.9 両社基本合意
↓
H17.9 H20.1サービスインで最終合意
↓
H17.12 IBMがスルガ銀行に対して、開発方法の変更等を提案(両社折衝を重ねるが合意できず)
↓
H19.4 IBMがCorebankからTCBに採用するパッケージの変更を提案
↓
H19.7 スルガ銀行が契約解除

紛争対策のポイント

- 何が合意されていたのか不明なことがある
 - ・段階に応じた適切な契約を「締結」する
 - ・秘密保持契約、共同開発契約、開発委託契約、請負契約など
 - ・合意内容を可能な限り明確化しておく
 - ・契約の実効性を確保する工夫をしておく
- 「きちんとやったのに...」、「そんなことしていないのに...」が立証できない
 - ・自社が行ったこと、行わなかったことを記録に残しておく(証拠化の重要性)
 - ・重要な関連文書には、相手方の受領印を得ておく
(文書は残っていても、相手方が受領したことが立証できない場合がある)
 - ・編集可能なデータをメールで送付しても記録にならない
- 仕様変更等が生じることは避けられないが、「なし崩し的な変更」は避けられる
 - ・仕様変更などの経緯を記録しておく
 - ・計画の進捗確認、仕様変更などの意思決定のための会議を設立し、議事録作成プロセスを定めておく
 - ・議事録には、会議の目的、出席者、議題、合意事項を記載する

技術開発・請負支援法務

